

平成 26 年 12 月

関西地区学会会員 各位

全国大学音楽教育学会関西地区学会  
会 長 山 岸 徹  
(学会印省略)

全国大学音楽教育学会 関西地区学会 平成 26 年度 後期研究会開催のご案内  
(最終案内)

拝啓 初冬の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、関西地区学会に多大なるお力添えを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび《全国大学音楽教育学会 関西地区学会 平成 26 年度後期研究会》の詳細が下記のように決まりましたのでご案内申し上げます。

今回は、当学会会員による 7 件の研究演奏発表（うち 1 件は中部地区学会会員）、及び寺尾 正 氏（大阪教育大学教授）をお迎えし、実習を交えての講演を予定しております。

新年早々の研究会ではございますが、万障お繰り合わせの上、ご参加下さいますようお願いいたします。研究会終了後、情報交換会も予定しております。

なお、第 1 次案内では研究会の開始時刻を 13:00（受付は 12:30 から）とお伝えしておりましたが、研究演奏発表が 7 件となり、調律とりハーサルの時間を考慮し、下記のように時刻を変更させていただきました。

まずは、取り急ぎご案内申し上げます。

敬具

記

1. 名 称 全国大学音楽教育学会 関西地区学会 平成 26 年度 後期研究会
2. 日 時 平成 27 年 1 月 11 日（日）13:30 開会（13:00 から受付）
3. 場 所 大阪市立総合生涯学習センター 第 1 研修室  
〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-500 大阪駅前第 2 ビル 5 階  
TEL 06-6345-500
4. 参加費 研究会 会員 1,000 円（臨時会員 2,000 円・学生 500 円）  
情報交換会費 6,000 円
5. 内 容 学会諸連絡（13:30 より）  
研究演奏発表（13:45 より）  
講演・実習（14:50 より） 講師：寺尾 正 先生  
演題：「誰にでもできる合唱基礎教育 ～合唱教育の盲点」
6. 情報交換会 「豆助 大阪丸ビル店」（17:30～19:30）  
大阪市北区梅田 1-9-20 大阪マルビル 3 階 TEL06-6345-1208
7. 申込み方法 **12 月 26（金）まで（必着）**に同封の返信用はがきにて研究会、情報交換会のご出欠をお知らせ下さい。  
なお、情報交換会につきましては当日のキャンセルはできかねます。  
キャンセルの場合は、2 日前までに下記へお知らせ下さい。  
一般の方のお申し込み、お問い合わせも下記までお願い致します。

**事務局長：永井正幸 E-mail m-nagai@osaka-aoyama.ac.jp**

※平成 26 年度年会費を未納の方は、当日ご持参下さいますようお願い申し上げます。

## 《研究演奏発表プログラム》

1. ピアノ弾き歌い 竹下 則子 (京都聖母女学院短期大学)  
童謡メドレー
2. ピアノ独奏 小谷 朋子 (常磐会短期大学)  
ドビュッシー作曲 前奏曲集第2集より 第8曲「水の精」、第12曲「花火」
3. ピアノ独奏 奥田 昌代 (大阪信愛女学院短期大学)  
ラフマニノフ作曲 プレリユード Op.23-No.4  
R.コルサコフ作曲 ラフマニノフ編曲 熊蜂の飛行
4. 作品発表 山岸 徹 (大阪キリスト教短期大学)  
歌曲「さくら」(作詩・三浦照子、作曲・山岸 徹)  
「木 蓮」(作詩・三浦照子、作曲・山岸 徹)  
独唱：伊藤菜穂美 (武庫川女子大学)、ピアノ：安本 雅子 (大阪青山大学短期大学部)
5. ピアノ連弾 プリモ：藤本 逸子 (東海学園大学)  
セコンド：久野以早夫 (東京福祉大学名古屋キャンパス)  
モーツァルト作曲 4手のためのピアノソナタ KV357 第一楽章
6. ピアノ連弾 プリモ：生地 加代 (武庫川女子大学)  
セコンド：山本 敬子 (大阪千代田短期大学)  
ドビュッシー作曲 小組曲より 第1曲「小舟にて」、第4曲「バレエ」
7. ピアノ連弾 プリモ：高橋 智子 (神戸女子短期大学)  
セコンド：廣田 周子 (神戸女子短期大学)  
ラヴェル作曲 マ・メール・ロワ より  
第3曲「パゴダの女王レドロネット」、第5曲「妖精の園」

## 《寺尾正先生のご講演について》

寺尾正先生からはご講演の要旨としまして次のような文章をいただいております。

\*\*\*\*\*

うたは、人間の心の内にある喜び、悲しみ、怒り、祈り、愛などを声に表し、聴く人に訴えるものです。ましてやコーラスは、多くの人とともにうたい合い、その思いを共有するという集団行為です。うまく演奏できた時のメンバーで分かち合う喜びには格別なものがあります。しかし、コーラスを練習する多くの場面で更なる上達を望んでいるにもかかわらず、なかなか思うに任せない現実があります。ここで心に留めなければならないのは、うまくいかない場合、必ず原因があるということです。うたう人も指導する人もその原因が見つけれられないのです。

この講演では、我が国の伝統音楽であるわらべうたを用いてシンプルで取り組みやすいカノン(無限)、オルガナム(平行)の課題を取り上げます。これらの課題の良さは、各声部が同等の立場でその程度に応じて声部を増やしたり減らしたりしながら練習できることです。この単純な課題の中に合唱技能の基礎を養成する最も重要なヒントが隠されています。注意深く取り組めば必ずリズム躍動、美しい響きの輝きを見つけられるでしょう。

大阪教育大学音楽教育講座  
寺尾 正

\*\*\*\*\*